

重点施策を推進する30年度の主な事業

(平成30年1月29日記者会見資料)

No.	重点施策の柱	施策	事業	事業内容	所管課	事業費 (単位：千円)
1	手賀沼をはじめとする我孫子ならではの自然を大切に、環境にやさしいくらしをはぐくむまちづくり	省エネルギーの推進		自治会等が管理する街路灯の付替えや新設、維持管理費用への補助を行い、引き続き全街路灯のLED化の完了を目指すとともに、LED化した街路灯の管理を順次市に移管するための準備を進める。また、住宅用省エネルギー設備の設置への補助を行う。さらに、低炭素設備導入事業（バルクリース方式）について、調査結果を踏まえ30年度に実施する。	施設管理課・資産経営課・道路課・手賀沼課	33,521
2		手賀沼・手賀川の活用		手賀沼・手賀川の一体的な活用に向けて、29年度に手賀沼・手賀川活用推進協議会で策定した「手賀沼・手賀川活用のためのアクションプラン」の実現に向けて、流域の柏市・印西市及び国・千葉県と連携しながら広域的な舟運の検討や情報発信などの事業を実施する。	企画課・商業観光課	—
3	我孫子の資源をいかし、豊かな地域を創りだす活力あるまちづくり 1/2	文化による活性化	旧井上家住宅の保存と活用	市の指定文化財である旧井上家住宅について、引き続き28年度から3か年の予定で進めている二番土蔵の保存修復工事を行う。また、敷地内の公開や企画展などのイベントを通じて、旧井上家住宅をPRしていく。	文化・スポーツ課	47,983
4		スポーツによる地域活性化	健康とスポーツ普及事業	手賀沼親水広場を舞台としたランニングイベントを実行委員会形式で実施する。また、生涯スポーツを支える人材を養成するため、スポーツボランティアや指導者養成講座を実施する。	文化・スポーツ課	1,999
5			市民体育館の整備	スポーツ振興の拠点施設である市民体育館の維持補修を行い、安全で快適に利用できる環境を整える。30年度は、テニスコートの全面整備を行う。	文化・スポーツ課	49,799
6			2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み	引き続き、30年に千葉県内で開催される第16回世界女子ソフトボール大会に出場する海外チームの事前キャンプ誘致に取り組んでいく。また、聖火リレーのコースについては、東日本大震災で被災した東葛飾地域の復興をアピールするために、東葛飾地域の各市を通るルート設定となるよう、県などに対し近隣市とともに要望していく。	企画課 文化・スポーツ課	970
7			高野山新田の整備	29年10月に策定した「高野山新田地区利用構想～憩いのエリア編～」に基づき、交流人口の拡大や農業振興を目的として活用していく。30年度は、高野山ふれあい市民農園跡地と水生植物園でコスモスや菜の花等の景観作物の栽培を実施するとともに、整備に向けて地元地権者や関係団体との調整を行う。	農政課	4,760
8		手賀沼親水広場を中心とした交流人口の拡大と地域の活性化	手賀沼公園レンタルサイクル・ミニSL事業	手賀沼周辺を訪れる観光客の利便性を確保するとともに、交流人口を拡大するため、レンタルサイクル・ミニSL事業を行う。30年度は、ミニ新幹線車両を購入し、親子での来訪者を拡大する。	商業観光課	3,527
9	手賀沼親水広場（農業拠点施設含む）の充実		手賀沼親水広場では、引き続き老朽化した手賀沼親水広場の「じゃぶじゃぶ池」の改修に向けた設計業務を行う。また、農産物直売所の品揃えの充実や加工品の開発を支援するとともに、レストランでの新メニューの提供により、農業振興と交流人口を拡大する。	手賀沼課 農政課	49,291	
10	あびこの魅力発信		テレビやラジオ等を活用し、充実した子育て支援策や手賀沼をシンボルとした豊かな自然環境など、我孫子の様々な魅力を市内外に積極的に発信し、我孫子市の知名度やイメージアップを行う。	秘書広報課	13,959	

11	我孫子の資源をい かし、豊 かな地域 を創りだ す活力あ るまちづ くり	産業・観 光の振興	企業が進出し やすい環境づ くり	29年度に実施している「我孫子市産業拠点点検等調査」の結果に基づき、新たな企業の誘致や住工混在解消の施策推進のため、市の産業集積に関する方針を策定する。	企業立地推進 課	342
12			農産物直売所 (アンテナ ショップ)跡 地の活用	「手賀沼観光施設誘導方針」に則った施設としての活用を目指し、新たな検討手法の一つとして注目されている「サウンディング型市場調査」を取り入れ、当該地を有効活用できる民間事業者の選定を行う。	商業観光課	—
13			起業・創業、 就労への支援	引き続き、起業・創業への支援として、相談窓口を設け、創業塾やビジネス交流会をNPO法人との共催により実施する。また、「創業支援補助金制度」により、創業者の支援を行う。就労支援として、個別面談や訪問支援等の若者自立支援事業を行う。	企業立地推進 課	4,439
14	2/2	手賀沼沿い農地の保全活 用と農業者支援		手賀沼沿いに位置する「根戸新田地区」「高野山新田・我孫子新田地区」「岡発戸新田地区」の3地区において、順次、農業用排水施設などの整備を行う。30年度は、引き続き根戸新田地区の農業用排水施設などの整備工事を行う。	農政課	20,400
15		地域コミュニティ活性化 の推進		地域コミュニティ活性化基本方針に基づいて、地域に合ったコミュニティづくりに取り組み、活性化を図る。活性化の柱である「地域会議」については、久寺家、天王台南、天王台北、新木、我孫子北の5地区に開設している。30年度も、新たな地区での地域会議の立ち上げを目指して、取り組みを進める。	市民活動支援 課	1,790
16	みんなが 安全にく らせるま ちづくり	災害予防・初動対策		熊本地震や関東・東北豪雨などの災害を教訓に、水防法等防災関係法令の改正及び「千葉県地域防災計画」が修正されたことに伴い、「我孫子市地域防災計画」の修正を行う。	市民安全課	5,534
17		防災情報伝達システムの 管理運用		現行のJアラート受信機が、30年度をもって使用できなくなることから、新型受信機への更新を行う。また、Jアラートで受信した情報を、防災行政無線等へ接続するためのファクトリーコンピュータを更新する。	市民安全課	2,771
18		防災倉庫の設置		引き続き、29年度から3か年の計画で進めている避難所となる小中学校への備蓄倉庫の設置を行う。30年度は、湖北台西小学校、並木小学校、湖北中学校、我孫子中学校、久寺家中学校の5校に設置する。	市民安全課	1,820
19		防犯・防災体制の強化		犯罪の起こりにくい安全・安心な環境を整備するため、30年度は、柏市と印西市との市境へ防犯カメラを各1台設置するとともに、自主的な防犯活動をする団体に対し、防犯カメラの設置費用の一部を補助する。また、青色回転灯を装備する公用車10台にドライブレコーダーを設置する。	市民安全課	3,138
20		消防施設の整備 (湖北分署及び訓練施設 の整備)		中里地区に消防署と訓練施設の整備を進める。30年度は、千葉県への事業認定申請と不動産鑑定評価、物件補償及び用地の取得等を行う。	消防総務課	89,574
21		救急救助体制の強化		西消防署配置の「はしご付消防自動車」とつくし野分署配置の「高規格救急自動車」の更新整備を行う。また、更なる救命率向上に繋げるため、24時間営業のコンビニエンスストアへのAED設置に向けた取り組みを進める。	警防課	243,032
22		消防団体制の強化		消防団器具置場について、建築年数が経過しているものから、順次整備していく。30年度は、第11分団器具置場の建替え及び第9分団器具置場の設計業務を行う。	警防課	34,588
23		水害対策	若松地区のバ イパス管の整 備 ほか	柴崎排水区後田樋管改築事業では、3か年継続事業の最終年度として工事を進める。天王台6丁目地区では、29年度の国の補正予算を活用し、3か年継続事業として雨水幹線整備工事に着手する。布佐排水区では、30年度から雨水幹線整備工事に着手し、上流に向かって工事を進める。若松地区では、引き続き雨水管布設工事を行う。	治水課	613,000
24	公園のバリアフリーの推 進		公園のバリアフリー化を推進する。30年度は、天王台西公園の園路やトイレなどの改修等を行う。	公園緑地課	70,727	

25	若い世代の定住化・少子化対策への取り組み	結婚相談事業	引き続き、社会福祉協議会が行う結婚相談や婚活イベントの支援する。	子ども支援課	2,711
26		若い世代の住宅取得への補助	若い世代の定住化促進を図るため、「若い世代の住宅取得への補助」の制度内容を一部見直し、30年度も引き続き実施する。	建築住宅課	39,899
27		産後ケア事業	引き続き、ショートステイ、産後デイケア、ママヘルプサービスの産後ケア及び産婦のメンタルチェックも含めた検診費用の助成を行う。	健康づくり支援課	14,373
28	保育環境の充実	市立保育園の民営化	「保育園運営委託化計画」に基づき、市立保育園の委託・民営化を順次行っており、30年度は、4月から根戸保育園を民営化する。	保育課	117,699
29		私立保育園の運営支援	30年4月から、ひかり幼稚園、つくしの幼稚園、湖北台幼稚園、恵愛保育園、柏鳳保育園が認定こども園に移行するため、補助を行う。また、保育士不足の解消等を図るため、保育士の宿舎借上げを行う事業者に対する補助を行う。	保育課	259,346
30		あびっ子クラブ及び学童保育室の運営	提案型公共サービス民営化制度により、三小あびっ子クラブと学童保育室の運営を民間に委託する。四小あびっ子クラブと学童保育室は、3年間の運営が評価されたことに加え、新たにサタデイスクール等、学習メインの取り組みを実施することが評価され、現在委託している事業者が引き続き運営を行う。また、市内13校目となるあびっ子クラブを布佐小学校に開設する。	子ども支援課	69,725
31	教育環境の充実	小中学校の教育環境の整備	小中学校施設の老朽化した設備等を計画的に更新していく。30年度は、受変電設備・プールろ過装置・給水施設の更新工事を行う。また、消防用設備、学校給食施設設備、小中学校の備品の更新整備を行う。	教育総務課 学校教育課	270,946
32		学校給食費の補助	30年度より市立小中学校に3人以上の子どもが在学する世帯に対し、第3子以降の学校給食費を全額無償とする。	学校教育課	15,582
33		小中一貫教育の推進	小中一貫教育について、31年度までに全ての中学校区で完全実施できるよう取り組みを進める。特に、ICT教育の充実を図るため、白山及び久寺家中学校区にiPadを導入し、ICT教育支援員を配置して、効果的な利活用の支援を行う。	指導課	44,021
34	駅施設の維持管理		30年度は、我孫子駅構内エレベーターの整備として、基本設計を行う。湖北駅では、上野側のホーム屋根を1.5車両分増設するほか、自由通路下部及び北口エスカレーターの修繕工事、自由通路の防犯カメラの更新を行う。布佐駅では、照明器具の修繕を行う。	交通課	196,634
35	誰もが生涯をとおして、健康で自立した生活を安心しておくれるまちづくり	自殺対策事業の推進	保健・医療・福祉・教育・労働など様々な分野から生きることの支援を総合的に推進するための自殺対策計画を策定する。	社会福祉課	2,977
36		胃がん検診内視鏡検査の導入	検診を通して、胃がんの早期発見・治療を目指す。30年度は、胃内視鏡検査導入に向けた検討委員会の設置や実施体制を構築する。	健康づくり支援課	429
37		生活支援体制の強化	日常生活圏域単位の生活支援ニーズの把握や連携体制づくりの推進を図るため、「第2層協議体」の設置と生活支援コーディネーターの配置を進める。	高齢者支援課	461
38		老人福祉センターの運営	老人福祉センターつつじ荘の受変電設備の更新工事及び空調設備の更新工事に係る実施設計を行う。また、西部福祉センターの浴室天井の修繕を行う。	高齢者支援課	23,811
39		障害者支援施設等の整備・充実	障害を持つ方が住みなれた地域で生活するために、住まいの場を確保していく必要があることから、柴崎地区に建設を予定している定員6名の障害者グループホームの整備を支援する。	障害福祉支援課	7,140

40	その他の都市基盤整備	手賀沼公園・久寺家線の整備	我孫子地区内を円滑に移動できる道路網を整備するため、国道6号から根戸新田・布佐下線間の整備を行う。30年度は、用地取得などを行う。	交通課	226,452
41		下新木踏切道の改良	下新木踏切とその接続道の拡幅に向け、30年度は、道路用地の取得と歩道拡幅工事を行う。また、引き続きJR東日本と踏切工事に関する協議を進める。	交通課	163,941
42		下ヶ戸・中里線外1線の整備	千葉県が進めている国道356号我孫子バイパスの整備進捗に合わせて、都市計画道路の整備を行う。30年度は、用地測量・用地取得、地質調査、詳細設計等を行う。	交通課	42,453
43		新たなクリーンセンターの整備	新たな廃棄物処理施設を建設するため、環境影響調査、旧施設の解体に伴う事後調査、土壌調査、建設に伴うアドバイザリ業務の委託を行う。また、引き続きリサイクルセンターの詳細整備計画の作成を行う。	クリーンセンター	116,033
44		橋りょうの長寿命化	市内にある橋りょうについて点検し、老朽化している橋りょうなどを計画的に改修する。30年度は、JR東日本と協定を締結し、白山跨線人道橋の補修工事を行う。また、11の橋りょうの定期点検を行う。	道路課	144,000
45	行財政改革の推進	歳入の確保	引き続き、市有施設を広告媒体として広告収入を確保するとともに、ふるさと納税による歳入の確保に努める。また、専門的知識の持った職員の活用により、滞納額の圧縮と徴収率の向上を図るとともに、市税の現年度分の徴収率を向上させるため、納税コールセンター業務を委託する。	収税課	12,433
46		下水道事業の地方公会計・公営企業会計への移行	下水道事業の経営状況を的確に把握できるよう、30年度は、固定資産の評価額の算出や公営企業会計システム導入の準備等を行い、32年度からの公営企業会計化を目指す。	下水道課	20,233
47		提案型公共サービス民営化制度の推進	提案型公共サービス民営化制度を、30年度も引き続き実施する。また、29年度に採用された4提案のうち、「次世代の小中学校コンピュータ環境整備※1」「公共施設等包括管理業務」「四小あびっ子クラブと学童保育室の運営※2」、28年度に採用された「三小あびっ子クラブと学童保育室の運営※3」を30年度に事業化する。 ※1「次世代の小中学校コンピュータ環境整備（事業費41,178千円）」は、「No.33 小中一貫教育の推進」と重複して掲載 ※2「四小あびっ子クラブと学童保育室の運営（事業費36,913千円）」と※3「三小あびっ子クラブと学童保育室の運営（事業費24,983千円）」は、「No.30 あびっ子クラブ及び学童保育室の運営」と重複して掲載	総務課	206,904
48		文化交流拠点施設整備の検討	さまざまな交流やにぎわいを育み、地域の活性化をもたらす新たな文化交流拠点施設の整備検討を行う。30年度は、現在策定を進めている建設構想検討案について、広く意見を聴いていく。	企画課 生涯学習課	—
49		放射能対策	引き続き、子ども達の生活空間を中心に放射線量を測定し、基準値以上の箇所が見つかった場合は速やかに対応するなど、市民の健康と安全を第一に考えて取り組んでいく。	放射能対策室、健康づくり支援課、保育課、クリーンセンター等 11課13事業	261,386